



佐渡ヶ島の 農業ノススメ



この島には里山や棚田を
大切にする農業と歴史ある
豊かな文化が共存しています。
あなたに贈る「農業ノススメ」です。
佐渡市は世界農業遺産(GIAHS)に認定されています

就農を目指す
皆さまへ



新潟県佐渡市

島で新規就農を目指す方へ

① 島の農業に対する自分の本当の気持ちを冷静に見つめてみよう

あなたが、農業をやりたいと考えた動機は何ですか？

- 無農薬や有機農産物を作りたいから
- 会社勤めより楽しそうだから
- 田舎の暮らしや自然に囲まれた生活にあこがれるから

などという理由であれば、もう一度考え直してください。

農業という職業で成功するには、多くの努力を必要とします。農業は自然が相手であり、思いもよらない事態が数多く発生します。また、1つの会社と同じですから、栽培技術のみならず消費の動向も把握した経営手腕が問われます。無農薬や有機農産物は農業の基礎技術を習得してから考えましょう。

短絡的な思いつきや、現実逃避型の就農では、家族や周囲の農家にも迷惑をかけるだけで終わってしまいます。「どんな困難があっても農業をやりたい」という気持ちがなければ難しいと思ってください。



② 明日から島の農業者？

サラリーマンの場合には「明日から出社してください」と言われるとすぐにその社員となり、1ヶ月後には給料をもらうことができます。しかし農業の場合には、「明日から農業をやるぞ」とどんなに意気込んでも、決して農業者にはなれません。まず、必要な農業技術の習得と資金や農地、機械・施設が確保できて初めて農業経営が開始できます。また、1ヶ月を単位に農作物が成長するわけではありませんので、収入を得るのに米作や1年生作物のほとんどが、播種から収穫まで6ヶ月は必要です。

農業法人に就職する場合でも最初の1年間は研修生扱いになることを考慮に入れておきましょう。

③ 新規参入希望者の方は島で「ゼロ」からのスタート

親の農業経営を継ぐという方の場合と違い、ゼロからのスタートですから、初期の設備投資に相当な資金が必要となります。いろいろな制度資金を活用したとしても、ある程度の蓄えは必要です。また、生活資金も作目によって異なりますが、概ね2~3年分を目安に準備しておきたいものです。また、これまでのサラリーマン生活と一変し、家族単位で農業をすることになりますので、奥さんや子供さんの協力が得られるよう、事前に十分な話し合いが必要です。

併せて、都市部と違い周囲の生活環境も一変することも考慮に入れておいてください。

④ 島の農村に住むということ

農村では、住民との付き合いがあります。よく「閉鎖的」「よそ者を受けつけない」と言われます。しかし、それは都市部の便利な生活と違って、農村部では共同作業が必要だからなのです。農家は、先祖代々その地に住み、農業や生活の上で様々な共同作業を行ってきました。そのため住民同士の付き合いが都市部と比べて強いのです。

農業経営を始めるといことは、「農村社会の一員」になるということです。農村では農業用水の利用に伴う共同作業など直接農業に関わることや、地域の伝統行事、習慣などに協力しなければなりません。そういった行事に参加し、地域に溶け込むことで村人とのふれあいや信頼関係、お互いの情報交換が出来るのです。

「村づきあい」ができない人に農業は難しいでしょう。



就農までの プロセス

◆就農までの一般的な流れ

参考ページ

就農相談

P18「相談窓口」



農業を始めてみたいと思ったら、まず関係窓口に相談し、
何から始めるか、どこから情報を収集するかを知ろう。

情報や基礎知識の収集

P3「佐渡ヶ島の農業」



就農に必要な情報・知識を十分収集し、
やりたい農業のイメージを固めよう。

体験・現場見学

P7「支援体制・施策」
P15「担い手あつまれ!!」
P18「相談窓口」

就農予定地の気候風土や栽培・販売の方法を知ろう。
実際に農家で農業を体験してみよう。



独立就農を目指す

農業法人へ就職



目指す農業経営ビジョンの明確化

P9「佐渡の優良モデル
経営体」



住宅の確保＝定住

P7「支援体制・施策」



研修の開始＝技術やノウハウの習得

P7「支援体制・施策」
P15「担い手あつまれ!!」
P16「里親農家に聞きました」
P17「研修機関を紹介します」
P18「相談窓口」



就農の準備

P7「支援体制・施策」



農地・資金・機械等設備を確保しよう。

就農計画の作成

P11「新規就農の先輩たちを
紹介します!」



生産計画、販売計画、資金計画を明確にしよう。

農地の取得

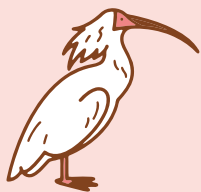
P18「相談窓口」



農業委員会で農地取得（貸借）手続きをし、許可を受けよう。

就農（独立）

※上記の流れは、スムーズに就農するための一般的な流れであり、必ずしも手順どおりにしなければならないというものではありません。

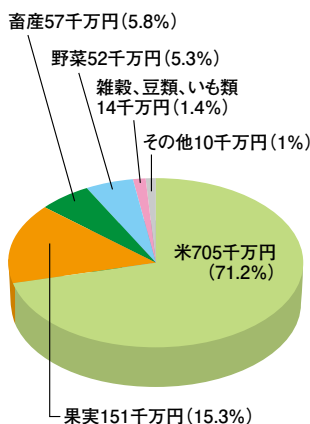


佐渡ヶ島の農業

佐渡において、農業は基幹産業として重要な役割を担っています。代表的な農産物に、コシヒカリを中心とした「佐渡米」、秋の味覚である「おけさ柿」、幻の洋なしともいわれる「ル レクチエ」、黒毛和牛の「佐渡牛」などがあり、リンゴ、イチゴも加えて多くがブランド品目として高い評価を得ています。

また、佐渡の中でも地域によって気候的特徴が異なり、比較的温暖な南部地区では、上記の果樹に加え、いちじくやみかんの生産も行われ、アスパラガスやゴーヤといった野菜の産地化も進められています。他にも砂丘地を中心とした花き、球根類、露地・施設野菜など多種多様な作目の生産が佐渡では可能とされています。

【農業産出額の内訳】(H28年)



【主な作目別の作付面積等】
《H30年》

作目等	面積 飼養頭数	農家数 (戸)
米	5,293ha	3,526
大豆	37ha	45
柿	345ha	654
西洋なし	7ha	41
乳用牛	265頭	11
肉用牛	合計	825頭
	繁殖牛	745頭
	肥育牛	80頭

※JA取扱分のみ

水稻

(『トキと共生する佐渡の里山』で育まれたお米)

佐渡は、海洋性気候の恵みにより、豊かな自然に溢れ、昔から良質な米の産地として、多くの農家が高い評価を受ける米作りに励んできました。

大佐渡・小佐渡山脈のミネラル豊富な伏流水や、本土よりも冷涼とされる気候が、夏場の昼夜の寒暖差を生み、佐渡米独特の粘りや旨みがじっくり育まれるといわれています。

品種は、「コシヒカリ」と「こしいぶき」が主流で、ほぼ全ての佐渡米が農薬や化学肥料の使用を5割以上減らした「人と環境にやさしい」農法で栽培されています。

また、佐渡は酒どころとしても有名でハリウッド俳優をはじめとした世界的セレブに愛される名酒も世に送り出しており、酒蔵と契約して、酒米の生産を行っている農家もあります。

佐渡市は、農薬・化学肥料の5割減をベースに、「生きものを育む農法」をはじめ、農家自身が行う生きもの調査の実施など、厳しい基準をクリアしたお米を「朱鷺と暮らす郷」米として認証し、米作りを通して、人と自然の共生を目指す生物多様性農業を実践してきました。

2011年には、その取り組みが国際連合食料農業機関(FAO)に認定され、「トキと共生する佐渡の里山」が、日本で初めて世界農業遺産(GIAHS)の認定を受けました。

今では、自然界においてトキが400羽以上生息するまでになり、生きものと共生する島づくりの成果が、島民の理解と協力、そして努力のもと、確実に実を結んでいます。



佐渡産コシヒカリ

『朱鷺と暮らす郷』米が購入できるお米屋さん

『朱鷺と暮らす郷』米は、
佐渡のめぐまれた環境のもと、
生きものを育む自然にやさしい農法で
トキと一緒にすこやかに育ったお米です。

こちらで購入できます

➡URL : <http://www.toki-mai.jp>



close-up

た な だ じ じ い て き の う ぎ ょ う 棚田ノ爺的農業ノススメ

佐渡棚田協議会 会長 大石惣一郎



佐渡がGIAHS(世界農業遺産)に認定、評価された一つに、金山の発展と共に開墾された、棚田空間の環境や景観も含まれていると思っています。

棚田景観は、良く日本の原風景と評されますが、その景観を維持保全するのは、とても過酷です。急峻な里山に、『へばり付く』ように開墾された棚田は、高い畦畔の変形田が多く、規模拡大などとても出来ません。しかし、金銀山で繁栄し、膨れあがった佐渡の人口を300年間力バーするだけの米を作り、戦中戦後の苦しかった日本の食糧事情を陰で支えてきた棚田が日本から消えてよいのでしょうか？

自然豊かな、落葉広葉樹の恵み、湧き清水の綺麗な水で作られた、安全安心で超美味しい棚田米、里山の恵み山菜、ミネラル豊富な海で育った海藻や魚達、それら全てを生業とすれば、棚田百姓も楽しいかも知れません。



close-up

(ターンオヤジ)

ミリョク 佐渡ヶ島の農業ノススメ

佐渡市地域おこし協力隊 高杉正哉(片野尾地区担当)



生まれ育った神奈川県から佐渡市地域おこし協力隊員として佐渡に移住し早や3年目。それまでは都内のオフィスビルの一室で朝から深夜、はたまた土・日曜日までパソコンとにらめっこで海外相手の業務に従事していた、それまで全く農業の“の”の字も知らなかった自分が、まさか佐渡で農業を…しかも“棚田”という特異な耕作地での稲作をしっかりと教え込まれ、約6反の耕作を手掛けるまでになるとは予想だにしていませんでした。

それもこれも、“人情の片野尾”と言われるくらい世話好きで面倒見がいい地域で、本当に手取り足取り、じっくりと根気よく、時には大笑いしながら、時々真剣に教えてくださったからこそ。

この地域の方々はよく笑う。朝、ゴミを出す時に顔を合わせた時に「おー、おはようさん。ガハハハ」。こんな調子なので、ちょっとでもお酒が入ったらもう大変！稲作においても、ちょっとやそとの苦労は笑い飛ばしてしまいます。

でも、そんな方々もこの地域に40年以上継承され、2年に1度公演される片野尾歌舞伎の3か月に及ぶ練習や準備となると皆引き締まります。

真夏の農作業で身体が火照ったら目の前に広がる透き通った海に飛び込み、そこで獲れるサザエやカニ、イカや鰯、鯛などの魚介類が食卓を賑わせる贅沢な地域、片野尾の棚田は傾斜が強く、各圃場への移動が大変だったり、水が保ちににくいなど、難しく辛いことも多いですが、ちょっとオシャレで楽しいですよ。





島はフルーツの宝石箱やあ♪

おけさ柿



「おけさ柿」は新潟県が原木を有する品種「平核無(ひらたねなし)」の登録商標名で、全国で最も流通量が多い柿です。佐渡は県内屈指の「おけさ柿」の産地で、佐渡市だけで毎年十数億円の販売額を誇ります。

歴史ある産地で、生産指導・出荷・販売体制が確立されていることから、新規参入者でも安心して取り組める園芸品目のひとつです。

あんぽ柿 (加工)



島では、良質なおけさ柿を原料にした干柿も盛んに生産されていますが、あんぽ柿は通常の干柿と違い半生状の色鮮やかな干柿です。果肉がゼリー状になるまで乾燥させた「あんぽ柿」は、柔らかく上品な甘さで需要は多く生産拡大が望まれています。名称の由来は、天干し→あまぼし→あんぽになったと言われています。

ルレク チエ



～フランスから島に届いた甘いジグ・グレイス～

ル レクチエは10月下旬の収穫から約40日間の追熟を経て、11月下旬から12月下旬までの1ヶ月間だけ出回る希少な果実で、それゆえに「幻の洋梨」ともいわれています。

佐渡地区では羽茂地区、金井地区を中心に栽培され、「新潟県ル レクチエ果実品評会」で過去に幾度となく最優秀賞を受賞している生産者もあり、百貨店でのカタログギフト商品としての取り扱いもあるほど品質の高さには定評があります。やみつきになる食感と芳醇な甘さを兼ね備えたル レクチエは、対馬暖流の恩恵を受けた島の宝石と言えるでしょう。

リンゴ



～島の土と風、太陽が
つまびく 芳醇な調べ～

佐渡はリンゴの隠れた名産地。農家数は決して多いとは言えない中、高度な栽培技術を代々継承し、さらに惜しめない努力と研鑽を重ね、毎年、安全で高品質なリンゴをつくり、産地を守っています。

栽培品種はバラエティーに富み、収穫は9月～12月にわたって行われます。中にはあっという間に売り切れるため、「幻」の冠を持つものもあります。

人気の秘密は果実に直接日光を当てる「無袋栽培」。太陽の恵みをたっぷり吸収した果実は、糖度抜群のジューシーな完熟状態で収穫され、消費者に届けられるのです。

越後姫



～夏を待てない
スイートプリンセス～

新潟県のような寒冷地においても栽培が可能な品種で、糖度が高く、大粒で柔らかい品質が高い評価を得ています。

近年は、地面より高い位置に棚を組む、『高設栽培』という手法が、島内でも主流となってきており、土壌病害の心配や作業負担の軽減などが図られ、安定生産も可能となってきています。

しかし、高品質であるが故に傷みやすい性質を持ち、長距離輸送による出荷が難しいため、島内ではケーキやタルト、スムージーといった加工販売も模索されているところです。

ネクタリン



～甘酸っぱさに癒される
お疲れサマー・フルーツ～

和訳を「毛なし桃」といい、新穂地区を中心に栽培されています。旬は7月から9月で、桃と比較すると若干果肉に弾力があり、夏の果物らしいジューシーさと甘酸っぱさのハーモニーを堪能できます。

病気に弱いなど栽培管理の難しさゆえ、全国でも生産量が少ないといわれていますが、佐渡産のネクタリンは温暖な気候のおかげで糖度が高く、旬を待ちわびる多くのファンに愛されています。



アスパラガス

地産地消の取り組みが進む佐渡では、鮮度の良いアスパラガスが島内のお店に並びます。

旬のアスパラガスはやわらかく、みずみずしさと甘味があって人気です。

生産組合などの組織化もされており、産地化に向けて生産者と生産面積の拡大に取り組んでいるところですよ。

アスパラガスの旬は春で、ゴールデンウィーク頃に収穫最盛期を迎えますが、長期間の収穫を可能とする栽培方法により、4月から9月まで出荷することができます。



ゴーヤ

主に赤泊地区で産地化が進められていて、新潟県内で唯一、生産者が部会（グループ）をつくって出荷に取り組んでいます。

ゴーヤといえば、沖縄を連想されると思いますが、佐渡の温暖な気候ではゴーヤが生産可能です。佐渡のゴーヤは、沖縄産に比べ苦みが少なくみずみずしいと言われており、島外への需要にも積極的に対応しています。



畜産

佐渡では約 300 頭の乳牛が飼育され、毎日約 6t の牛乳が生産されています。佐渡で生産される生乳は島内の酪農工場へ出荷され、佐渡産 100% 牛乳、バター、チーズなどの乳製品として島内外へ販売されています。また、和牛繁殖経営が主流の佐渡は子牛の産地としての評価が高く、健康な子牛を求めて県内外から多くの購買者が集まります。年間約 300 頭の子牛が競りに出され、その多くは日本各地のブランド牛となる肥育素牛として出荷されます。



佐渡産農産物の旬と収穫期

■ 旬
■ 収穫期

作物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米									■	■		
柿(おけさ柿)										■	■	
柿(あんぼ柿)	■	■								■	■	
柿(干柿)	■	■									■	■
ルレクチエ											■	■
アスパラガス				■	■	■	■	■	■			
ゴーヤ						■	■	■	■	■		
いちご	■	■	■	■	■	■						■
桃・ネクタリン							■	■	■			
リンゴ	■	■	■						■	■	■	■
キウイフルーツ	■	■	■								■	■
さくらんぼ						■	■					
スイカ							■	■	■			
メロン							■	■	■			
いちじく							■	■	■	■	■	
茶					■	■	■	■				
トマト			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ジャガイモ					■	■	■	■	■	■		
タマネギ				■	■	■	■	■	■	■		
なす					■	■	■	■	■	■	■	■
きゅうり	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■
ほうれん草	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■
しいたけ(生しいたけ)	■	■	■	■	■						■	■
キャベツ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■



支援体制・施策

◎移住・定住支援策

【問い合わせ先】 佐渡市役所 地域振興課

TEL 0259-63-4152 E-MAIL : chiiki@city.sado.niigata.jp

移住定住支援情報HP
QRコード



佐渡暮らし 体験住宅	概要 佐渡市に移住を検討している方に、市内での暮らしを最短1ヶ月から最長6ヶ月まで体験できる住宅をご用意しています。    ・畑野地区2棟(月額2万円) ・赤泊地区2棟(月額1万円) ・両津地区1棟(月額2万円)
空き家情報 システム制度	佐渡市移住定住支援情報ホームページ「空き家情報」から空き家を探することができます。
若者定住 家賃補助	概要 市内に転入して1年以内で、満年齢の合計が80歳未満の夫婦世帯または満年齢が40歳未満の単身者、若しくは中学生以下の子供がいるひとり親世帯が、市内の民間賃貸住宅または佐渡市空き家情報システムに登録された物件を借り上げた場合の家賃を補助します。 補助金額・補助期間 家賃から住宅手当等を除いた額の1/2に相当する額(千円未満端数切捨て)とし、月額2万円を上限とします。期間は、補助金の交付を決定した月から起算して1年以内になります。
空き家 改修費等 補助	概要 佐渡市空き家情報システムに登録された物件を購入した方を対象に、改修費及び不要物撤去費を補助します。 補助金額 【改修費】改修工事にかかる経費の1/2に相当する額(上限50万円、下限5万円) 【不要物撤去】不要物撤去に係る経費の1/2に相当する額(上限20万円、下限5万円)
空き家取得 仲介手数料 補助	概要 満年齢の合計が80歳未満の夫婦世帯、満年齢が40歳未満の単身者又は中学生以下の子供がいるひとり親世帯が、佐渡市空き家情報システムに登録された物件を購入した場合の仲介手数料を補助します。 補助金額 市内の宅地建物取引業者に支払った仲介手数料の1/2に相当する額(上限10万円、下限5万円)
佐渡 UI ターン サポート センター	住むところ・働くところの情報発信と、暮らしの相談・交流の二本柱で、佐渡暮らしを進める方の支援を行っています。移住コーディネーターがあなたの「佐渡島生活」をサポートします。 〒952-1211 新潟県佐渡市中興乙1441 TEL 0259-58-8013 E-MAIL sado.uiturn@gmail.com ホームページ https://www.sadouiturn.com/

新規就農を目指す人を充実した支援体制で応援します。
ご相談ください。あなたに合うものを一緒に探しましょう。



We want!!
Agriculture and
collaboration of
you and future!!

◎就農前の研修段階及び就農初期段階の青年就農者に対する支援策

農業次世代 人材投資資金 「準備型」 交付実績 30名 令和元年8月31日現在	農業経験・技術がない方が、就農や農業法人への就職を目指して県農業大学校等の教育機関等で研修を受ける際に、最長2年間、年間最大150万円の交付を受けることができます。 ※予算の範囲内で採択を行います。場合によっては採択されないことがあります。 対象者要件 ◆就農予定時の年齢が50歳未満であること ◆営農ビジョンと研修目的が明確であり、就農意欲が高いこと ※研修終了後1年以内及び交付期間の1.5倍（最低2年間）以上就農すること ◆新潟県が認める研修機関等で一定の条件を満たす計画に沿った研修を行うこと ◆常勤の雇用契約を締結していないこと など
--	---

【問い合わせ先】 新潟県佐渡地域振興局 農林水産振興部（佐渡農業普及指導センター）
TEL 0259-63-3185 E-MAIL : ngt111150@pref.niigata.lg.jp

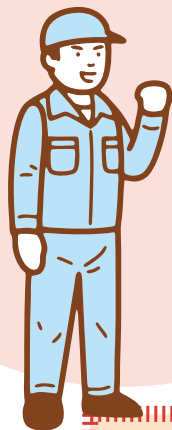
青年等就農 計画認定制度 (認定新規就農者制度)	就農前または農業経営を開始して5年以内の農業者が、自らの農業経営の目標などを記した「青年等就農計画」の認定を受けた際に、有利な資金の貸付や、新規就農者向け補助事業等を活用できる制度です。
農業次世代 人材投資資金 「経営開始型」 交付実績 59名 令和元年8月31日現在	農業経験・技術が新規の経営開始に足ると見込める場合、経営開始後最長5年間にわたり、年間最大150万円の交付を受けることができます。（夫婦は1.5人分） ※予算の範囲内で採択を行います。場合によっては採択されないことがあります。 対象者要件 ◆就農時に50歳未満であること ◆認定新規就農者であること ◆独立・自営就農であること ◆一定の基準を満たす経営開始計画を作成すること ◆人・農地プランに位置付けられている、または位置付けが確実と見込まれること など

【問い合わせ先】 佐渡市役所 農業政策課 農業企画係
TEL 0259-63-5117 E-MAIL : u-nouki@city.sado.niigata.jp

◎農業体験・受け入れ体制の充実に向けた支援策

就農体験 宿泊費補助	50歳未満の方を対象として就農体験中の宿泊費の1/2を補助します。 (1泊につき上限5千円。6泊まで)
新規就農 里親制度	研修や農業経営を開始して間もない新規就農者に対して、地域との橋渡しをはじめ、技術指導や設備提供をする農業者を「里親農家」として登録し、就農希望者とのマッチングを行います。

【問い合わせ先】 佐渡市役所 農業政策課 農業企画係
TEL 0259-63-5117 E-MAIL : u-nouki@city.sado.niigata.jp



佐渡の優良モデル 経営体

佐渡では日々試行錯誤を繰り返しながら農業の新しい可能性を模索している人たちがいます。その中で素晴らしい農業経営を展開されている方々を紹介します。



水稻 平野部



稲職人として日本中、
世界中のお客様とつながりあいたい。



株式会社 佐渡相田ライスファーマーミング
代表取締役 相田 忠明

佐渡という特別な島国がもたらす自然の中、
稲職人として独自の米作りを行うとともに、地
元の皆さんに愛され、日本中、世界中のお客様
とつながりあいたい。

平成30年 GLOBAL G.A.P認証取得

経営概要

- ・法人設立：平成25年2月26日
- ・資本金：200万円
- ・従業員数：役員2人・従業員3人(うち家族2人)
- ・規模：水稻17ha(相田家産佐渡スーパーコシヒカリ5ha)
- ・売上高：2,500万円

果樹+水稻 中山間地



販売は自分を売ることであり！



ル レクチエガーデン TAKANO
代表 高野 栄一

農業経営は、やり方次第でいろんな可能性が生まれる。
そして販売は自分を売ることであり。

経営概要

- ・農業従事年数：12年目
- ・経営構成：本人・雇用1人
- ・規模：ル レクチエ(西洋なし)0.56ha / おけさ柿0.30ha / 水稻0.56ha
- ・売上高：1,100万円
- ・受賞歴：平成18年度西洋なし「ルレクチエ」・果実品評会最優秀賞(県知事賞)受賞
平成24年度果樹高品質生産拡大共進会・(西洋なし)農
林水産大臣賞受賞

里親
農家

就農に向けて
おまえたちの
ような研修生を
受け入れてくれる
ところだよ



なあって
里親農家
なあに？



水稻+果樹 +施設園芸 中山間地

地域農業の維持・活性化を目指す。

有限会社 齋藤農園

代表取締役 齋藤 真一郎

安全・安心でおいしい食料の供給という使命を持って活動していく中で、地域農業の維持・活性化を目指す。

経営概要

- ・法人設立：平成11年4月14日 ・資本金：700万円
- ・従業員数：役員 3人
- ・規模：水稻 30.0ha/大豆 4.0ha/柿 2.4ha/りんご 0.6ha/ネクターン 0.6ha/いちご 0.28ha/ハウスぶどう 3a/フルーツカフェ(観光農園)
- ・売上高：5,900万円
- ・受賞歴：平成23年度新潟県優良農業経営体等表彰事業
優良認定農業者(法人)の部 農協中央会長賞 受賞

里親
農家



施設園芸 中山間地

施設園芸っておもしろい！

羽茂亀脇 笠井農園 代表者 笠井 博之

目標農業収益1千万円！

損害防止に細心の注意を払い、独自のマニュアルで、常に作物の1ヶ月後の姿を想像しながら管理・栽培しています。

経営概要

- ・農業従事年数：51年目(いちご21年目)
- ・経営構成：家族2人・アルバイト3人(収穫時期1ヶ月：2人。いちご苗鉢上げ時期20日：1人)
- ・規模：水稻 0.94ha / いちご 0.15ha
- ・売上高：1,200万円
- ・受賞歴：平成23年度新潟県施設園芸立毛品評会
(いちごの部)新潟県知事賞 受賞

里親
農家



複合経営 中山間地

中山間地で多品目栽培により安定収入を実現

佐々木 健二

佐渡の特産である柿をメインに、1年を通じて作業が途切れない農業を実践しています。

また、中山間の農業・農村を守っていくため、地域の役に立てることを積極的に取り組んでいます。

経営概要

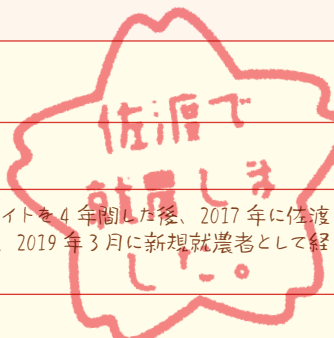
- ・農業従事年数：13年目
- ・経営構成：家族4人、臨時雇用 年間延べ100人
- ・規模：水稻育苗 7,000枚、水稻 110a、ゴーヤ 20a、採種南瓜 25a、干柿 150a
- ・売上高：2000万円

里親
農家





新規就農の先輩たち



氏名	本間 恭介 (27)
◎自らの農業経営のテーマ	農業を楽しむ！
◎プロフィール	東京都出身。群馬県で農家のアルバイトを4年間した後、2017年に佐渡に移住。先進農家で2年間研修し、2019年3月に新規就農者として経営を開始。
◎経営の概要	水稲・露地野菜
◎就農の動機	先祖からの水田と共に、佐渡の農地を少しでも多く守っていきたい。
◎就農後の取り組み	
・就農を決意してから実際に就農するまでの経過、年数など	2年。
・技術の習得（方法）	先進農家である（有）斎藤農園で2年間研修。
・農地の確保	研修中に声をかけていただいた方々からお借りしています。
・資金の確保	農業次世代人材投資資金（準備型・経営開始型）や県補助金（機械リース事業・借地料補助）などを活用
・住宅の確保	父の実家
・地域とのつきあい	研修会や交流会に積極的に参加し、農協青年部、4Hクラブ、集落の役員などもしています。
◎就農しての感想	
・良かったと感じる点	大好きな農業を、好きな自然の中で思い切りできること。
・苦労した点、また苦労している点	就農前から継続して、農業機械・施設・資金を調達すること。
・就農希望者への助言	この佐渡で農業が好きという気持ちを爆発させてください！一緒に頑張りましょう！私でよければ、いつでもお声かけください！飲んで話しましょう！
◎現在の経営内容	【経営耕地】田 650a 畑 60a 【農機具・生産施設など】ほとんどをお借りしています。 【労働力】基本的に1人。時に家族や周りのお力を貸していただいています。 【経営内容】水稲、露地野菜 【販売方法】JA・個人販売
◎今後の目標・夢	笑顔を作る農家！！これからも自分自身が農業を楽しみながら作物を作り、その作物を食べた人が笑顔になるような農業をしていきたい！
◎佐渡について	
・魅力	やはり自然！大好きです。
・残念なところ	耕作放棄地や空き家が増えていること。



PORTRAIT



を紹介します！

氏名	梶原 由恵 (39)																																								
◎自らの農業経営のテーマ	農作物を通じて、土地景観の維持・地域のPR活性化																																								
◎プロフィール	兵庫県神戸市生まれ 平成26年2月、農業をするために父の故郷である佐渡に移住 平成29年3月、鷺崎で就農 平成30年11月、北陸ブロック農業青年会議で新潟県代表として発表 優良賞受賞 平成30年11月、第20回米・食味分析鑑定コンクール国際大会 都道府県代表お米選手権 金賞受賞																																								
◎経営の概要	水稲・大豆・露地野菜・採種																																								
◎就農の動機	安全で安心な食べ物で、私自身や周りの人を元気にしたいと思い、農業を志しました。																																								
◎就農後の取り組み																																									
・就農を決意してから実際に就農するまでの経過、年数など	約4年。																																								
・技術の習得(方法)	ハローワークの職業訓練で農業科を受講。農業法人への就職。 現在も、地域の方から地域の農業技術を学んでいます。																																								
・農地の確保	田畑ともお借りしています。畑は集落の土地で、集落の方達が整備して下さいました。																																								
・資金の確保	農作業受託や、地域の介護施設でのアルバイト。 農業次世代人材投資資金(経営開始型)を活用しています。																																								
・住宅の確保	空き家を購入。																																								
・地域とのつきあい	農業も生活も、集落の方々のご協力がなければ何も出来ませんでした。 今後どのように皆様の役に立ていけるのかを模索しています。																																								
◎就農しての感想																																									
・良かったと感じる点	自分が作った、また農業を通じて知り合った方の、安全・安心・新鮮なものを食べて毎日を過ごせること。																																								
・苦労した点、また苦労している点	一見余剰があるようで、農地や住居を確保するのが難しいこと。 栽培収穫・販売、地域の活動、現金収入の確保等、リズムがまだまだ掴めていないこと。																																								
・就農希望者への助言	信頼できる方と出会うために、始めはたくさんの方とお話するのが良いと思います。																																								
◎経営内容の推移	<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">就農時の経営(2017年)</td></tr><tr><td>経営耕地</td><td>田 23a</td><td>畑 12a</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>農機具・生産施設など</td><td colspan="5">指導グループから全てお借りしています。</td></tr><tr><td>労働力</td><td colspan="5">基本的には一人。指導グループの方が手伝って下さいます。</td></tr><tr><td>経営内容</td><td colspan="5">水稲、大豆、露地野菜、採種</td></tr><tr><td>販売方法</td><td colspan="5">水稲・大豆・露地野菜→直販 採種→契約栽培</td></tr></table>							就農時の経営(2017年)				経営耕地	田 23a	畑 12a				農機具・生産施設など	指導グループから全てお借りしています。					労働力	基本的には一人。指導グループの方が手伝って下さいます。					経営内容	水稲、大豆、露地野菜、採種					販売方法	水稲・大豆・露地野菜→直販 採種→契約栽培				
		就農時の経営(2017年)																																							
経営耕地	田 23a	畑 12a																																							
農機具・生産施設など	指導グループから全てお借りしています。																																								
労働力	基本的には一人。指導グループの方が手伝って下さいます。																																								
経営内容	水稲、大豆、露地野菜、採種																																								
販売方法	水稲・大豆・露地野菜→直販 採種→契約栽培																																								
◎作付体系	<table><tr><td>主な栽培作物</td><td>播種</td><td>仮抛</td><td>定抛</td><td>収穫期間</td></tr><tr><td>水稲</td><td>4月中旬</td><td>—</td><td>5月中旬</td><td>9月下旬</td></tr><tr><td>大豆 (佐渡在来種)</td><td>6月中旬</td><td>—</td><td>—</td><td>11月上旬</td></tr><tr><td>朝顔 採種</td><td>5月上旬</td><td>—</td><td>6月中旬</td><td>11月中旬</td></tr></table>					主な栽培作物	播種	仮抛	定抛	収穫期間	水稲	4月中旬	—	5月中旬	9月下旬	大豆 (佐渡在来種)	6月中旬	—	—	11月上旬	朝顔 採種	5月上旬	—	6月中旬	11月中旬																
主な栽培作物	播種	仮抛	定抛	収穫期間																																					
水稲	4月中旬	—	5月中旬	9月下旬																																					
大豆 (佐渡在来種)	6月中旬	—	—	11月上旬																																					
朝顔 採種	5月上旬	—	6月中旬	11月中旬																																					
◎今後の目標・夢	・一日でも早く、農業で生計が立てられるようになること ・食育の場や新規就農者の窓口となるような農家民宿を開くこと ・集落、地域の役に立てるようになること																																								
◎佐渡について																																									
・魅力	様々な自然の景色や食べ物を楽しめる、日本の縮図のような島であるところ。																																								
・残念なところ	島外からの移住者のほうが、佐渡の魅力を知っているところ。																																								

佐渡で就農しました。



PORTRAIT



新規就農の先輩たちを紹介します！

氏名	仲塚 周子(34)・雄輝(33)																							
◎自らの農業経営のテーマ	香り豊かな野菜を子供が食べても安心安全に。																							
◎プロフィール	周子：新潟県新潟市生まれ。シンクタンクで労働環境の調査を行う研究員として従事。 雄輝：埼玉県志木市生まれ。正社員転職のキャリアアドバイザー職、新聞社グループの人事労務を経て佐渡へIターン。																							
◎経営の概要	無農薬野菜の多品種栽培。 野菜そのものの販売に加えて、農家民宿『カールベックス古民家民宿』、農家レストラン『HirumaCafe』を経営。																							
◎就農の動機	安心安全な食を作ること。本来の香りやおいしさのある野菜を作りたいという思いから就農。																							
◎就農後の取り組み																								
・就農を決意してから実際に就農するまでの経過、年数など	2年間。(経営計画、設備、農地の準備期間)																							
・技術の習得(方法)	文献、近隣の方からの指導。																							
・農地の確保	日頃お世話になっている近隣の方からお借りしています。																							
・資金の確保	自己資金のみ。																							
・住宅の確保	空き家だった親の実家を再生。																							
・地域とのつきあい	作付けの時期、肥料(糞炭)作りといった農業に関わることを教えて頂きお世話になっています。また、農業だけではなく、チェンソーの使い方から山菜取りといった生活に必要な技術も勉強させて頂いています。 引越し当初は家を直しながらの生活だったため、近隣の方がいらっしやらなかったら心身ともに乗り越えられなかったと思います。																							
◎就農しての感想																								
・良かったと感じる点	安心安全な作物を提供できる。季節感のある生活を送ることができる。																							
・苦労した点、また苦労している点	気候に合わせて作物が本来の成長にならないことがある。																							
・就農希望者への助言	できないこと・難しいことはたくさんあると思いますが、今すぐできることもあるはず。 おいしい種を蒔いてください。																							
◎現在の経営内容	<table><tr><td></td><td>2018年</td></tr><tr><td>経営耕地</td><td>20a</td></tr><tr><td>農機具・生産施設など</td><td>耕運機</td></tr><tr><td>労働力</td><td>2名(家族)</td></tr><tr><td>経営内容</td><td>作物販売、農家民宿、農家レストラン</td></tr><tr><td>販売方法</td><td>直販、通販、レストラン及び民宿(朝食)で提供。</td></tr></table>					2018年	経営耕地	20a	農機具・生産施設など	耕運機	労働力	2名(家族)	経営内容	作物販売、農家民宿、農家レストラン	販売方法	直販、通販、レストラン及び民宿(朝食)で提供。								
	2018年																							
経営耕地	20a																							
農機具・生産施設など	耕運機																							
労働力	2名(家族)																							
経営内容	作物販売、農家民宿、農家レストラン																							
販売方法	直販、通販、レストラン及び民宿(朝食)で提供。																							
◎作付体系	<table><tr><td>主な栽培作物</td><td>播種</td><td>仮植</td><td>定植</td><td>収穫期間</td></tr><tr><td>トマト</td><td>—</td><td>—</td><td>6月</td><td>7月・11月</td></tr><tr><td>あずき</td><td>9月</td><td>—</td><td>—</td><td>11月</td></tr><tr><td>とうがらし</td><td>4月</td><td>—</td><td>—</td><td>7月から11月</td></tr></table>				主な栽培作物	播種	仮植	定植	収穫期間	トマト	—	—	6月	7月・11月	あずき	9月	—	—	11月	とうがらし	4月	—	—	7月から11月
主な栽培作物	播種	仮植	定植	収穫期間																				
トマト	—	—	6月	7月・11月																				
あずき	9月	—	—	11月																				
とうがらし	4月	—	—	7月から11月																				
◎今後の目標・夢	HirumaCafeを楽しい時間を提供できる場所に。 民宿YOSABEIを心豊かな時間を過ごせる場所に。																							
◎佐渡について																								
・魅力	陸のもの海のもの山のもの全てがおいしい。人口が多い都心では仮においしいものがあっても、一般家庭では食べることが出来ない。 山、海、田園の景色がきれい。毎日美術館にいるような景色に囲まれている。																							
・残念なところ	特になし！																							

カールベックス古民家民宿
YOSABEI
HirumaCafe



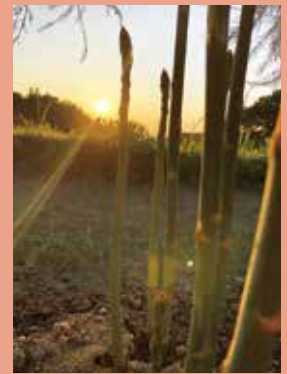
PORTRAIT



氏名	大場 幸恵 (32)												
◎自らの農業経営のテーマ	地域の農地保全・活きる農業 新しい人材の発掘と育成を目指す												
◎プロフィール	新潟県佐渡育ち 高校卒業後、太鼓芸能集団鼓童文化財団研修所に入所。その後一度島外で生活し、2013年から農業に携わる。												
◎経営の概要	おけさ柿 120a・アスパラガス 10a・あんば柿と干し柿の加工												
◎就農の動機	・子供の時から田植えや稲刈りなど家の仕事の手伝いとしてやっていましたが、最初は休みを取られる様な作業でした。 ・高校卒業後、鼓童文化財団の研修生になり、家では機械で行っていた作業を全て手作業で体験し、一つ一つの仕事の意味を知ることによって興味を持つようになりました。 ・実家に戻り、家の土地の維持・管理を自分しなければならなくなったことで、専門的な知識が必要になり、さらに経営として成り立たせるため、備かる農業を学ぼうと思いました。												
◎就職後の取り組み													
・就農を決意してから実際に就農するまでの経過、年数など	農業に携わった最初の年はアルバイトとしてお手伝いさせていただき、自分が農家としてやっていけるのか1年考えました。その後研修制度があることを知り、今後自分の地域を守りながら自分が生活していくためには経営として成り立つ農業を身につける必要があったため、青年就農給付金「準備型」を利用し2年の研修後、就農しました。												
・技術の習得(方法)	基本的に毎日作業することで体に覚えさせました。機械の操作方法の習得や作業の効率化などは研修先の方の仕事に近くにいることで盗むような心がけ、分からないことややってみたい機械操作などは自分から積極的にお願いし体験させてもらいました。就農した現在でも他の農家の方の仕事を見ることは意識的に行なっています。												
・農地の確保	地元の高齢になった方の園地などをお借りしています。準備型給付金を受けて研修したことで、こちらの覚悟が地域の方にも伝わり、研修中に顔を合わせた時に土地のお話をさせていただくことで、スムーズに土地をお借りすることができました。その後も声をかけていただくことがあり、農地の確保は順調にできています。												
・資金の確保	今までの蓄えを切り崩したり、補助金・融資などを利用しています。研修期間中に「何に・いつ・どのくらい・何年で返済」するかまできちんと計画を立ててから投資することが大切です。												
・住宅の確保	実家なので家族と住んでいます。												
・地域とのつきあい	地元であるため付き合いは普段からあります。農業を始めたことで仕事場が集落内になり、今まで以上に関係づくりは重要だと思います。集落内では親より年齢が上という方が大多数をしめるので、意見を言う障気が引けてしまったり、理解してもらえずぶつかり合うこともあり、話し合いの場を持つことに多少苦労しています。												
◎就農しての感想													
・良かったと感じる点	日々の些細なことが幸せなことだと気づくことが多くなりました。空が綺麗、虫の行動が面白い、自分の作ったものが形になり誰かが喜ぶなど。仕事や所得などはまだまだ大変なことが多いですが、自分で考え、行動し、結果として出る。人が仕事をする上で一番必要とする「充実」を得られるようになりました。何より家族と食事をとることができるようになりました。												
・苦労した点、また苦労している点	資金の調達、人手の確保。新規就農者は融資の面など、かなり優遇されていると感じます。しかし、農業機械を一から揃えるにはかなりの投資を必要とします。それに伴い、面積を拡大していくためには人手の確保は必須となり、農作業以外の仕事(人手確保の準備や事務作業など)との両立は苦労しています。												
・就農希望者への助言	農業は土地や作物と強く関わる職業です。農地を借りる、買うというのは元の所有者の「土地への愛着」を引き受けることになります。「ダメだったら辞めれば良い」という考えで参入するのはやめましょう。また今までの農業は兼業農家が支えてきてると言えるほど専業で所得を確保していくには難しい職業です。個人事業主になることは会社の「社長」になるということだということを理解しましょう。家族がいるのであれば「社員」の生活を保証する経営計画を立てて、所得を得る農業を目指してください。												
◎現在の経営内容	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">2019年</th></tr> <tr> <td>経営耕地</td><td>柿 120a・アスパラガス 10a</td></tr> <tr> <td>農機具・生産施設など</td><td>あんば柿・干し柿加工、機械格納兼作業小屋(新設) その他格納庫借用</td></tr> <tr> <td>労働力</td><td>農繁期はアルバイトを雇用。その他機械操作などは経験のある家族に依頼。</td></tr> <tr> <td>経営内容</td><td>おけさ柿、アスパラガス栽培・あんば柿、干し柿の加工</td></tr> <tr> <td>販売方法</td><td>農協への出荷</td></tr> </table>	2019年		経営耕地	柿 120a・アスパラガス 10a	農機具・生産施設など	あんば柿・干し柿加工、機械格納兼作業小屋(新設) その他格納庫借用	労働力	農繁期はアルバイトを雇用。その他機械操作などは経験のある家族に依頼。	経営内容	おけさ柿、アスパラガス栽培・あんば柿、干し柿の加工	販売方法	農協への出荷
2019年													
経営耕地	柿 120a・アスパラガス 10a												
農機具・生産施設など	あんば柿・干し柿加工、機械格納兼作業小屋(新設) その他格納庫借用												
労働力	農繁期はアルバイトを雇用。その他機械操作などは経験のある家族に依頼。												
経営内容	おけさ柿、アスパラガス栽培・あんば柿、干し柿の加工												
販売方法	農協への出荷												
◎今後の目標・夢	所得の確保できる農家、また次世代へ伝えていける農業												
◎佐渡について													
・魅力	四季がはっきりしていて、冬は豪雪地ほど寒くならず、夏は猛暑になることは少ない、過ごしやすい地域だと思います。船でしか本土へ行くことができないことをマイナスと捉えることもありますが、島外への憧れが強くなれば生活には全く困らず、自分でなんでもしたい人には住みよいところだと思います。												
・残念なところ	昔から佐渡に住んでいる人ほど「佐渡なんて」と言うことが多く、これから頑張ろうとする人に水を差すことがある。公共交通機関が弱いため、島外の方が体験に來たいと言ってくれても自分が港まで迎えに行かなければいけないことが多く、仕事との調整が大変。												



PORTRAIT





担い手あつまれ!!

湧水の棚田から生まれる「米づくりの郷」
片野尾集落で農業を始めてみませんか？



おっちゃん
後継者いないの…

(T-T)

片野尾集落

全体で20町歩(※)ほどの大小の棚田が山へ登ると広がる。30年前までは大空を舞うトキの姿を見ることができ、そして日本で最後の野生の朱鷺のネグラがあった場所。

その様な歴史的背景から、トキの餌場となるピオトープづくりや棚田米の生産に地域をあげて取り組む、生物多様性豊かな地域。

※1町歩(ちょうぶ) = 1ヘクタール



片野尾棚田



問 農業生産法人「片野尾とき舞株式会社」

三國 豊 Tel.090-8013-5865

「片野尾とき舞株式会社」の生産者が熱心に農業の技術を教えます！

昔ながらの棚田が広がる片野尾集落で、美味しいお米づくりを始めてみませんか？

◆受け入れ体制

【住居】 古民家を改修したシェアハウス型の住居にて生活して頂きます。

【農地】 集落の営農組織「片野尾とき舞株式会社」の管理する田んぼをお貸し致します。

【設備】 農機・道具を一式お貸し致します。
(田植え機・稲刈機 等)

◆条件

- 1 田舎暮らしが好きな人
- 2 農業に楽しみを持てる人

人材求む！
一緒に農業をやりましょう！



◆体験・農業研修応募条件

- 【体験】 ・体験希望はどなたでも大歓迎！
・2時間、半日、1日、終日など予定をご相談ください。
- 【農業研修】 ・概ね30歳代まで。
・地域行事に積極的に参加していただける方。
・健康な方であれば、男女不問。
・高身長の方に向いている作業です。

※応募条件以外の方でも意欲のある方はご相談ください。

◆面積 (2019年度 現在)

- ・おけさ柿 4.0ha
(甲子園球場とほぼ同じ面積)
- ・水稻 (コシヒカリ) 約3ha

◆作業内容

	おけさ柿	水稻(コシヒカリ)
4月		育苗ハウス整備、耕起、種まき、育苗
5月	摘蕾(てきらい)	田植え
6~8月	摘蕾、摘果、草刈り	草刈り
9月	収穫準備	稲刈り、籾摺り
10、11月	収穫、あんぼ柿生産	
12~3月	剪定	

新潟県佐渡市の南部に位置する松ヶ崎地区丸山にて、おけさ柿の栽培をメインに、米作りも行っている専業農家です。

柿の栽培は、個人としては島内(市内)最大の面積を有し、眺めのいい仕事場は、自然や開放感を満喫しながら作業が出来ます。

知識がなくても大丈夫！

大切なのは『やる気』です！

数日の体験から、本気の研修まで、可能な限りご相談に応じます。

ぜひ私たちと一緒に農業をはじめましょう！



◆体験受入実績 (H26~30)

- 東京から2名(柿の収穫、水稻田植え)
- 京都から1名(柿摘蕾)
- 大学生 随時数名
- 農業学校生 随時数名
- 専門学校生 随時数名



問 富井ファーム

代表 富井 澄雄

Face book:「富井ファーム」で検索



里親農家(研修先)に聞きました

研修受け入れ先名称	株式会社 JAファーム佐渡	
指導品目	水稲、おけさ柿、加工柿、アスパラガス	
農業従事年数	6年(法人設立:平成24年7月5日)	
佐渡の良いところ	何と言っても自然が豊かです。これはかけがえのない佐渡の財産。 自然界で繁殖しているトキたちを間近に見ながら仕事ができます。 そして人の情け。佐渡の人はやや内気ですが、心やさしい人ばかり。 さらに佐渡では、歴史ある文化や自然観察など、多くのことを学ぶ機会に恵まれています。	
佐渡の残念なところ	佐渡の人は、もっと積極的に打って出る気概があるといいですね。その点では、Jターンやリターンの皆さんの活力が刺激になると思います。	
農業の魅力	自然の中で、自分の裁量で働くことができます。 自分の責任で経営していくので、工夫次第でいろんなことにチャレンジでき、スキルアップのチャンスがあります。	
その他	佐渡農業の担い手を作っていくことは、当社の設立目的そのものですので、ぜひ一緒に農業に挑戦しましょう！	
受入実績	研修生4名	

自然の中で働く喜びを、ともに分かち合いましょう。



研修機関を 紹介します。

【農業次世代人材投資資金（準備型）研修機関】 公益財団法人 羽茂農業振興公社

佐渡地域振興局、佐渡市、JA羽茂、生産組合などの各団体と連携して、
研修から就農後まで栽培技術や経営をサポートします。

就農相談

就農フェア・関係機関・羽茂農業振興公社ホームページ

短期農業研修 農作業体験

- 農業を知る
- 地域の栽培作物を知る
- 農村生活を体験する
- 就農場所としての検討

農業に適して
いるか見極める
期間です

研修住宅完備



農作業体験・短期農業研修 500 円／日
長期農業研修 10,000 円／月 ※光熱水費別

意思決定

面接【就農意欲の確認】

長期農業研修

【農業次世代人材投資資金（準備型）】 年間 150 万円

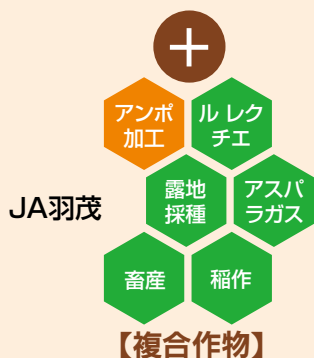
※就農予定時の年齢が50歳未満の者が研修期間中について最長2年間受けられます。



【基幹作物】おけさ柿

研修 1 年目

- おけさ柿の基本的栽培管理研修
- 安全な機械操作
- 基本的な機械整備
- 販売・流通
- 農業簿記の基礎
- 複合作物の選定



研修 2 年目

- おけさ柿の実践研修（担当園地での栽培管理）
- 機械操作と整備技術の向上
- マーケティング
- 経営管理
- 複合作物の実践研修



【農業次世代人材投資資金（経営開始型）】 年間 150 万円

※就農時の年齢が50歳未満の認定新規就農者に対し、最長5年間。

就農・支援



優良農地の幹旋



農機具のリース



栽培技術指導



営農相談会

※農業次世代人材投資資金（準備型・経営開始型）は、県または市が予算の範囲内で採択を行います。場合によっては採択されないことがあります。

お問い合わせ・連絡先

（公財）羽茂農業振興公社

TEL 0259(88)3559 Mail h-kousya@e-sadonet.tv
URL <https://www.hamochikousya.com/>



相談窓口

[サポート機関・団体]



就農相談、技術の習得、資金の確保、農地の取得など就農に必要なことについて、
次のようなサポート機関・団体があります。

わからないことは積極的に相談し、就農の準備を進めるようにしましょう。

相談内容	サポート機関・団体名	お問い合わせフォーム QR コード
就農・農業体験に関する 総合相談窓口	佐渡市役所 農業政策課 〒 952-1292 新潟県佐渡市千種 232 TEL 0259-63-5117 FAX 0259-63-5127 E-MAIL : u-nouki@city.sado.niigata.jp	
農業技術・経営、資金に 関する相談	新潟県佐渡地域振興局 農林水産振興部 (佐渡農業普及指導センター) TEL 0259-63-3185 FAX 0259-63-4386 E-MAIL : ngt111150@pref.niigata.lg.jp	
	佐渡農業協同組合 営農事業部営農企画課 TEL 0259-63-3106 FAX 0259-67-7061 E-MAIL : einoukikakuka@ja-sado-niigata.or.jp	
	羽茂農業協同組合 営農課 TEL 0259-88-3133 FAX 0259-88-3134 E-MAIL : hjaeinou@e-sadonet.tv	
空き家・定住支援策に 関する相談	佐渡市役所 地域振興課 〒 952-1292 新潟県佐渡市千種 232 TEL 0259-63-4152 FAX 0259-63-2750 E-MAIL : chiiki@city.sado.niigata.jp	
移住に関する 総合相談窓口	佐渡 UI ターンサポートセンター 〒 952-1211 新潟県佐渡市中興乙 1441 TEL 0259-58-8013 E-MAIL : sado.uiturn@gmail.com URL : https://www.sadouiturn.com/	
農業研修に関する相談	公益財団法人 羽茂農業振興公社 TEL 0259-88-3559 FAX 0259-88-3559 E-MAIL : h-kousya@e-sadonet.tv URL : https://www.hamochikousya.com/	
農地の取得（賃借）に 関する相談	佐渡市農業委員会 TEL 0259-63-5115 FAX 0259-63-2750 E-MAIL : s-noi@city.sado.niigata.jp	

■ 船で

- ▶ 新潟港 ——— 両津港
ジェットfoil65分/カーフェリー2時間30分
- ▶ 直江津港 ——— 小木港
高速カーフェリー1時間40分



新潟佐渡へのアクセス (JR・高速道・飛行機・船)



佐渡市農業政策課

〒952-1292 新潟県佐渡市千種232番地
TEL0259-63-5117 FAX0259-63-5127
佐渡市ホームページ <https://www.city.sado.niigata.jp/>

第5版
2019.9